

103 号 地域開発みちの会



みちの会だより

<http://www.aichi-michinokai.com/> 発行責任者 森 紀代美

森 紀代美 会長



昨年度のフォーラムでの上野千鶴子氏の講演から大きな勇気をもらいました。冒頭、みちの会の昨年度のテーマ「性差別をなくすために私たちは何ができるか」に対して、上野氏の答えは、
たくさんある！でしたね。

森喜朗五輪組織委員長の女性差別発言に対して「#わきまえない女」を付けた女性たちの発言による猛攻撃は性別を問わず多くの人々の共感呼びました。そして女性たちにかつての「わきまえた女」を反省させるきっかけとなりました。講演の中で上野氏は、

- ・性差別の被害者に対しても加害者に対しても、傍観者にならないで
- ・だまっていたら「同意」、一緒に笑ったら「共犯」、声を上げた人を孤立させないで
- ・日常にある嫌なこと、性差別に、その時、その場で「待った」をかけること、目くじらを立てることが大事と教えてくれました。

10年前なら森氏の発言は、わきまえた女たちによって許されていたかもしれません。しかし、もう私たちは、性差別に気づき、気づいたら目くじらを立て、みんなで声を大きくすれば「変えられる」ことを学びました。

私たちは昨年度の学習会で、身近なところにある性暴力について学びました。受講後のグループ討議（第2回学習会）では、自分の過去を振り返り、あんなこともこんなことも性暴力だったんだ、と自分ごととして考えることができました。そして性暴力の背景や解決していくための方法を話し合っていくと、男女の経済格差、家父長制や戸籍法や民法、相談窓口、家庭内を含めて人権や男女平等や性についての教育など、問題点や改善点が次々と出されました。家庭内での教育など自分一人ですぐにでもできることはすぐに実行し、相談窓口を充実させるとか法律を変えるとかは、連帯し大きな声にしていかなければなりません。

連帯し大きな声にしていくには、男女比を表すちゃんとした調査と統計を出すことが重要です。問題点のターゲットを絞り、それについてのデータを集め、まとめることから始まります。みちの会には素晴らしい取り組みの歴史があります。それらを活かし、その意欲を継続し、新しいデータを付けてより外向けに発信していくことを今年度の私たちの取り組みにしていきたいと思います。

令和4年度 総会



2022年地域開発みちの会総会が4月13日東海市立市民活動センターで開催されました。来賓は、愛知県県民文化局 男女共同参画推進課長 朝日真様、公益財団法人あいち男女共同参画財団 専務理事兼事務局長 各務元浩様の二人でした。

新しい会員紹介

武豊町

亀井 正子



何十年？前、中区在住時代に女性会館の前を通る度に「男女参画」の講義に出たいと思いながら家族優先で、その後の時をいっしてしまいました。今回美浜町の方とのご縁でみちの会に入らせていただきました。歳を埋めつつ勉強させて頂きたいので宜しくお願いします。

現在、武豊日赤奉団、防災ボランティアの会、社協のボランティアに所属。趣味はオカリナ演奏、園芸、服作り、DIY(と、家具固定の依頼を木材実費でやらせていただいております)等を楽しんでいます。夫と二人暮らしです。

南知多町

しん 秦
ゆきほ 由岐穂



皆さんはじめまして。私は南知多町で平飼い養鶏と野菜の有機農園をやっています。秦由岐穂と申します。南知多で生まれ育ち、東京で勤めていましたが11年前にUターンして親の農園の跡を継ぎました。一児の母です。子育てをきっかけに女性と社会について考えるようになりました。みちの会に参加させていただき嬉しいです。これから勉強させていただきたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。

加藤美幸 議員紹介

謙虚に前向きに、勇気を持ってトライ！



愛知県半田市議会議員 加藤美幸
1962 年生まれ
2015 年より 2 期目



★市議会議員ってなにをする人？

「市長」が提案したお金の使い方やルール決定が本当に市民のためになるのか、市役所の仕事が正しく行われているかを「市議会」がチェックします。それを構成するのが「市議会議員」で、委員会などでの審査の他、一般質問などを行なうことができます。

★女性登用率 30%へ、誰がやる？ 私やります！

議員をする原点となったのは、愛知県男女共同参画支援セミナーを受講したことです。それまで、子育てや家事を第一優先し、自分は家庭のための裏方や潤滑油でいいと思っていましたが、そんな女性ばかりでは、いつになっても、男女平等の社会にならないと気づかせてくれたのは、セミナーのおかげです。2015 年当時、半田市では 22 人の議員のうち、女性はたった 1 人。気軽に相談ができ、頼りになる女性議員が必要。ならば、私が！

★選挙とは、、多くの人の手を借りて、苦しいお産をするが如し。

組織も無く、まるで素人の選挙活動でしたが、ママ友やボランティアで知った方達など多くの女性達の力がエネルギーとなり、当選することが出来ました。

★これまで問題とされてこなかったことを表に出すのが私の役目。見て、聴いて、考え、声をあげる。市民に身近な存在を心掛け、様々なことに取り組みました。

①ワンオペ育児や相談する人のいない子育てママの辛さに、市はどう向き合うのか。赤ちゃん訪問のあり方について改善を求めました。

②男社会の典型的な喫煙に対する甘い環境に対し、受動喫煙防止と健康対策をずっとうたえています

③自然災害への防災減災復興へのシミュレーションとして、被災地での作業やボランティアセンターの運営を体験するための参加支援事業を求めました。また災害時に女性の視点の重要性をうたえました

④家族がなくても安心して備えられる、市営の合葬墓の建設を提案しました。

⑤保育園から使用済み紙オムツを持ち帰ることへの問題と改善に取り組んでいます。

他に市民が取り組む花壇づくりや女性職員の幹部登用など、継続して取り組んでいます。

★市民の生活をよくするためには、多様な人が議員となるべきです。

あなたも勇気をもってチャレンジしてください。できます、やれます！



2018 西日本豪雨での片付け。地震・水害・台風など様々な被害や復興を体感するため各地へ行きます。